

結果未報告によるシード権未獲得

フィードバックと今後の改善策

新人戦開催途中にコロナ禍となり、やもなく大会を中止せざるを得ない状況でした。制限下の中、年度内に活動再開となり秋季大会開催が出来ることになりました。総務委員会にて大会運営方法等決定し新人戦の結果を考慮、シード権を与えることとし競技委員より枠組みや予選結果によるシードチームの選出を行うこととしました。大会に際し、事前説明会を経て抽選会に至りましたが、抽選会終了した後日シード権があったチームがシードされていないとの連絡が事務局に2チームより寄せられました。

○ 経緯

1. ①新人戦予選ブロック開催後、結果を報告されていないブロックがあった。
 - ②新人戦開催途中でコロナ禍により大会が中止となり、予選予定変更・中止の組合せあるものと事務局が判断
2. 新人戦開催打ち切りまでの途中結果ホームページなどの発表はされていない
3. 秋季大会開催にあたり総務委員会での会議
 - ① 新人戦途中結果（シード権について）報告するが修正や改めでの報告なし
 - ② 総務委員会にて秋季大会打ち合わせ。秋季大会の議事進行
要点をまとめて報告・審議したため女子は6ブロックで確認し代表者会議準備にとりかかる。
 - ③-i 代表者会議にて、第1シード、第2シードの発表
 - ii 代表者より抽選してもらう。
 - iii シード抽選後、シード抽選結果読み上げる。
 - iv その後、一般抽選を行い、決定後全ての組合せを発表。
 - v 組合せ決定後、各ブロックに分かれて1回戦の日程・会場打合せし報告
 - vi 全ての会場・責任者報告後トーナメント表に掲載報告
 - vii いくつかの質問については回答し、他に漏れの報告や質問等ない為終了。
4. 抽選日後、新人戦ブロック結果が出ており本来シードであったと事務局へ連絡が入る。

○ 原因の振り返り

1-① 結果報告が会場責任者よりされていない。未報告も指摘されず経過してしまった。

1-② 事務局確認がなされず思い込みでの判断。

2 HPでの掲載があれば当該チーム関係者からも指摘されたと考えられる。

今回未試合ブロックあり、掲載されずなかったため、指摘なく結果が不明瞭であった

3-① 総務委員会での組合せ案段階では、全体像を考える為、結果でのシード選出チームは判断しにくい。とはいえ、この時点で新人戦予選が行われた結果を見ていけば指摘されるところでもあった。

3-② 予選ブロック結果が忘れられていたチーム代表者より指摘してもらえた場面

運営側としては「チーム代表者」とは、単に抽選や伝達のみではなくチームの代表として責任と権限を持ち、その方針や方法に了承したうえで抽選を行ったと認知された。

また、抽選した代表者はシードが無いことをその場で疑問には思ったが、進行を含めてその場で言える雰囲気ではなく、後日確認となってしまった。

○ 今後の改善点

・大会報告については、各会場責任者が当日又は遅くても翌日まで（期間は後日相談）に報告の義務を徹底。報告がなされていない場合、事務局が責任者に確認・注意喚起する。

・今後もコロナ禍により大会途中中止に至ることも考えられるため、その場合は行ったトーナメントは掲載し行えなかった組合せより中止などの掲載をおこなう。

（掲載することにより指摘され今回のような繰り返しを防止できる1つの手段）

・代表者会議開催時、受付の段階で前大会でのシード権を有するチームを分かるように記し、確認を行う。

・代表者会議などでは、運営側でも最善を尽くすもののヒューマンエラーは起こりえる為、代表者それぞれも確認の上で参加していただけるよう呼びかける。

・代表者より質問が行えるような、質疑応答時間・会議の雰囲気・役員の配置など考慮

以上の事を今回の反省・改善点とし次回より心がけて、活動運営に取り組んでいく。

○ 今回の対応

新人戦にてシード権を獲得していた子供たちには大変申し訳ないとは思いますが、今秋季大会については、現実問題として再抽選からの大会期間や会場などを考えると大会運営が行えないことから、再抽選は行わず今回のトーナメント表に掲載した通りの組合せ・日程とさせていただきます。

今後このような事が起こらないよう、役員一同心がけて再発防止策に取り組んでいきたいと思っております。

新潟市ミニバスケット連盟 会長 小澤 勝美

U12 新潟支部 支部長 本間 政裕